

稲嶺 惠一

沖縄県知事

## 沖縄県におけるエコツーリズムの推進について

本県は、日本列島の最南端に位置し、南北 400 キロメートル、東西 1000 キロメートルにまたがる 160 の島々に 40 の有人離島を有する島嶼県であります。これらの島々には、独自の進化を遂げてきた希少な動植物が数多く生息・生育しております。

また、本県の観光は、平成 15 年度において過去最高の 500 万人余の観光客数を記録し、観光収入も約 3,800 億円となり、沖縄県経済を支える基幹産業となっております。

近年、観光に対するニーズが多様化する中で、従来の団体旅行型から個人旅行型へ変化し、旅行形態も「見る」だけの活動からエコツーリズムに代表される「参加・体験する」活動に対する関心が高まっております。

本県におきましては、平成 16 年 3 月「沖縄県エコツーリズム推進計画」を策定し、自然・文化・歴史の適切な保全と利用と持続的な活用 地域の活性化をはかる活動 訪問者が適切な案内をうけて地域の自然・歴史・文化とふれあう活動の 3 つの要素をみたく観光の考え方を定め、各種施策を展開しております。具体的には、環境への配慮と保全、魅力あるエコツーリズムプログラムの開発、人材の開発・育成及び推進体制の構築等を展開し、本県における体験・滞在型観光の推進、自然・文化環境の適正な保全及び地域の活性化と自立を目指していきたいと考えております。

また、西表島の仲間川をフィールドに活動している動力船、カヌー事業者によって、平成 16 年 2 月に「仲間川地区保全利用協定」が締結されました。内容は、自然環境への配慮、安全管理、地域住民の生活・伝統文化への配慮項目が盛り込まれており、去る 6 月に認定を全国で初めて行ったところであります。

本県におきましては、今後とも「沖縄県エコツーリズム推進計画」に基づき、関係機関と連携を図りながら、エコツーリズムを積極的に推進してまいります。